

大分県保育現場の働き方改革研究会 報告書（概要版）

H30. 12

【目的】 保育士一人ひとりがモチベーションを高め、希望を持って働ける職場環境づくりに向け、現場における現状・課題、効果的な改善策を整理することにより、県下の保育施設における働き方改革の促進を図る。

【研究会開催】

メンバーは、園長や保育士、社会保険労務士等で構成。H30. 6月～12月にかけて全5回にわたり開催。
研究会開催に先立ち、県こども未来課において、保育現場における働き方改革に関する取組状況についてアンケート調査を実施。
賃金や処遇を除く6つの課題ごとに、現場でできる効果的な改善策について整理。

保育現場の働き方に関する主要課題

(1) 働き方改革に取り組む体制や意識

- ・ 働き方改革の方法やノウハウが確立されていない
- ・ 改革に抵抗感を示す職員が多い

(2) 保育士の業務負担

- ・ 書類作成、行事、会議等、日々多忙
- ・ 持ち帰り残業
- ・ 業務量の偏りや仲間に頼りづらい環境

(3) 精神的負担

- ・ クラス担任制により課題を抱え込みがち
- ・ 先輩に意見が言いにくい
- ・ アレルギーや発達障がい児、保護者への対応等

(4) 休暇・休憩

- ・ 慢性的な人手不足等で休暇が取得困難
- ・ 常に子どもから目が離せない環境のため休憩困難

(5) 保育従事者の確保

- ・ 子育て等を理由とする退職が多い
- ・ 園と求職者で求める勤務条件が合わない
- ・ 「きつい、安い、長い」のマイナスイメージ

(6) 保護者や地域住民の理解

- ・ 保育を取り巻く現状について、保護者や地域住民の理解が必要

現場で実践できる効果的な改善策

(1) 働き方改革に取り組む体制・意識づくり

- ・ 園長等管理職の決意
- ・ 改革リーダーを中心とした体制・意識づくり
- ・ 仕事内容の見える化と保育士の必須業務の明確化

(2) 保育士の業務負担の軽減

- ・ 書類作成業務、行事の製作物等の見直し
- ・ ICTシステムの活用
- ・ 子育て支援員などの保育補助者の配置

(3) 精神的負担の軽減

- ・ 副担任の配置
- ・ 先輩によるサポート
- ・ 複数人で対応、情報共有

(4) 休暇・休憩を取りやすい環境づくり

- ・ 担任を持たない保育士や保育補助者の配置
- ・ 計画的な休暇取得の推進
- ・ 独立した休憩室の確保

(5) 保育従事者の確保対策

- ・ 柔軟な勤務形態の導入
- ・ 保育士・保育所支援センターを活用した人材マッチング、就職フェアへの参加
- ・ 保育士の魅力や自園の積極的なPR
- ・ 中高生の職場体験の実施

(6) 保護者や地域住民の理解促進

- ・ HPやブログを通じた現場の情報発信
- ・ 行事を通じた地域住民との交流
- ・ 保護者の一日保育士体験

行政に望む支援策

◎園長等管理職の働き方改革の意識醸成

- ・ 園長等を対象とした意識改革セミナー
- ・ 優良園に対する表彰制度

◎現場における実践支援

- ・ 専門家による働き方改革実践支援
- ・ 効果的なICTシステムの導入支援
- ・ 実践の中核を担うリーダーの養成研修

◎保育従事者の確保

- ・ 保育補助者の雇上げへの支援
- ・ 保育士・保育所支援センターのHP等を活用した積極的な情報発信

◎行政事務の効率化ときめ細かな情報共有

- ・ 行政関係書類の標準化、照会の簡素化
- ・ 国や県の助成制度など幅広い情報発信

◎保育士が相談できる体制の整備

- ・ 保育士の悩みや不安などの相談を受ける体制整備の検討

◎社会全体で子どもの育ちや親を支える体制づくり

- ・ 子育て講演会の実施や男性の育児参画の推進等

効果的な改革実践を支援

改善策